

## 平成24年度私立学校初任者研修 小学校（西日本地区）研修会実施報告

本年度の私立学校初任者研修小学校（西日本地区）研修会が、8月1日（水）から8月3日（金）まで2泊3日の日程で大阪ガーデンパレスで開催され、44名の小学校教員が受講した。

まず初めの、賢明学院小学校副校長の津田克彦氏による講演「私学の教師として」では、若い教員には私学の教師としての自覚を抱いて欲しいという熱い気持ちが伝わる内容であった。

次におこなわれたホテルオークラ神戸総務人事部人事課研修担当マネージャーの中田聖子氏による「社会人として～あなたが目指す先生は！？～」では、社会人としての基本的な心構えが説かれた。



研修2日目の、甲南小学校教諭森幸彦氏による講演「綴方教育は心の教育～作文を柱にした学級作り～」は、小学生への作文指導の実践的な内容のお話しであった。

また、暁小学校校長、水谷浩三氏の「ICTを活用した考えを深める授業デザイン」では、授業の進め方や教科の指導における注意すべき点などを、語っていただいた。



午後からは、当研究所の大森隆實専任研究員による「明日から役に立つ授業経営」が行われ、私学が置かれている状況や子ども達の実状を、さまざまな例を取り上げて解説した。

その後の、「楽しい体育指導」では、体を動かす実習を帝塚山小学校教諭の野村至弘氏、近畿大学附属小学校教諭の下釜誠顕氏、及び光華小学校教諭の安本幸男氏の3先生の指導のもと体育実技に取り組んでいた。



夕食後は「グループ討議」が実施され、低学年・中学年・高学年・専科と4つのグループに分かれた討議が、夜遅い時間で熱心に話し合いが続いた。

研修3日目は、講演として臨床心理士で、スクールカウンセラーでもある犬山和行氏の「児童への関わり方を考える際の発想の持ち方と保護者に対応する際の留意点についてースクールカウンセラーからの提言ー」と題し、児童と保護者への関わりについての内容であった。



最後の全体会では、前夜の分科会の報告を行い、その後、閉会式で修了証が授与され、3日間の研修を終了した。